

市会議案第20号

国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書

上記の議案を提出する。

令和7年10月1日提出

吹田市議会議員 山根 建人

同 柿原 真生

同 益田 洋平

同 玉井美樹子

同 竹村 博之

同 塩見みゆき

国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書
(案)

国民健康保険は、国民皆保険制度の中核として、国民の医療の確保と健康の保持増進に大きく貢献している。

しかしながら、その保険料は協会けんぽなどの他の公的医療保険と比べ、所得に対する負担割合が高く、加入する人々の生活を圧迫している。

また、国民健康保険料の算定には、世帯に属する被保険者数に応じて賦課される均等割保険料があり、子どもにも賦課されるため、子育て世帯の負担となっている。

そもそも国民健康保険は保険料に事業主負担がないため国庫負担が必要であり、他の公的医療保険の保険料との格差については是正が求められていた経過がある。

このような中、国は、国保財政の基盤強化のため、2018年度（平成30年度）以降、毎年約3,400億円の財政支援を行い、さらに2022年度（令和4年度）からは、未就学児に係る均等割保険料の軽減措置も実施しているが、全国知事会や全国市長会からは、被保険者の負担が過大とならないよう、更なる財政支援措置を講じることなどが要望されている。

こうした状況から、国民健康保険の安定的かつ持続的な運用等を行うためには、更なる財政支援が必要であり、また、公的医療保険が国民に平等に医療を保障するための仕組みであることを踏まえると、加入する医療保険の違いによる保険料負担の格差は、社会の公平、公正の観点から解消すべきである。

よって、本市議会は政府及び国会に対し、国民健康保険財政への国庫負担を増額するよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年10月 日

吹 田 市 議 会